

一同立ち会い、甲乙無く割り合い申すべき事

附り、仮り免状米高書付、前年増減差引を

記し、高札場並び名自宅門口に張り出し、惣

百姓並び出作のものに至る迄弁えさせ申すべき事

一御年貢の儀、米拵え縄俵随分念を入れ、升目等名主・

組頭・米見（こめみ）立ち会い、吟味遂げるべき事

一御年貢の儀江戸廻しの節、古き船又は船具

不足の船に積むべからず、尤も最寄（もより）組合村々申し合い

御米積み廻すべき事

附り、上乘りの者船中にて御米大切に相守り、沢手（さわて）

仕らざる様仕り、尤も升目の内盗み取らせざる様、油断仕る

間敷事

一御年貢積み候船、若し難風に逢い波掛り等多く出来候歟、

又は水出候節、船乗損じ破船仕り候はば、最寄村々名主

方へ早速相達し、立ち会いの上御米相改め、早速注進仕るべく候事

一毎春百姓夫食（ふじき）に成るべき類貯え置き申すべく候、其の心掛け無くして

自然夫食願い出候共、吟味の品に寄り取り上げず候事

一御年貢米金名主方へ相納め候節、銘々其の時々

請取手形名主方より百姓方へ取り置き申すべく候、万一請取

手形相渡さず候はば其の旨訴え出るべき事

附り、請取手形の儀、端紙（はがみ）にては紛失の基に付

通帳に仕立て、名主・与頭調印いたし相渡し置き

申すべき事

一割附・皆済目録村々へ請け取り、惣百姓立ち会い披見（ひけん）仕り、

相違の儀これ無く候はば悉（ことごと）く書付写し、村中披見仕り候処相違

これ無く、銘々割り合い出入これ無き旨奥書認（したた）め、惣百姓連印仕り、

役所へ差し出すべき事

附り、人別帳差し出し候節、割附・皆済目録拝見

證文と唱え差し出すべき事

一御年貢取り立ての節、年々小割（こわり）帳念を入れ仕立て、上中下

田畑其の外位限（くらいぎ）り、米永取箇附（とりかつけ）いたし、夫（それ）より

御年貢取り立て、諸夫錢（ぶせん）取り立て仕訳（しわけ）帳へ記し、皆済の